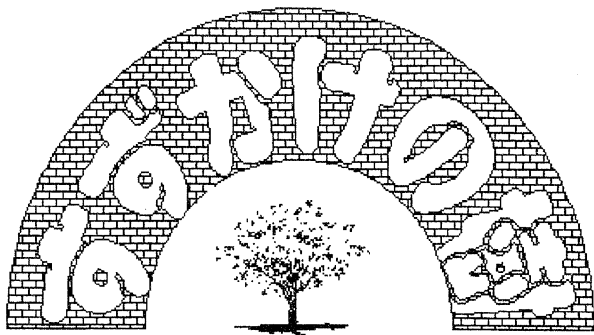




2018. 12. 5発行 No.143
社会福祉法人 すずかけ福祉会

障害者生活介護事業所「すずかけ共同作業所」

小牧市大字南外山字間島15-1 TEL.0568-71-3644 fax.0568-71-3649

障害者生活介護事業所「さらん」

小牧市小針2-356-2 TEL・fax0568-75-3991

障害者共同生活援助事業所 すずかけホーム「そよ風」「虹の家」

小牧市大字南外山字間81 TEL・fax0568-76-8151

障害者共同生活援助事業所 すずかけホーム「青空」「太陽」

小牧市小針2-356-1 TEL・fax0568-75-2888

障害者共同生活援助事業所 すずかけホーム「大地」「すばる」

小牧市小針2-363-1 TEL・fax0568-75-2888

障害者居宅介護事業所 「ヘルパーステーションとなり」

小牧市小針2-356-1 TEL0568-90-0111 fax0568-90-0112

楽しかったね♪名フィルコンサート！

ここ数年、秋の一大行事として仲間たちに好評なのが、名古屋フィルハーモニー交響楽団へ以下名フィルによるコンサートです。10月3日に名古屋国際会議場にて開催されました。今回はすずかけの2階フロアで働いている仲間を中心に出かけました（来年はすずかけの1階のメンバーが出かける予定です）。3年前にも行ったことがあり、チラシを見ただけで覚えていた仲間もいて期待感が伝わってきました。当日は名古屋までのロングドライブもウキウキしている仲間たちでした。

コンサートではパンフレットを片手に、わくわくドキドキしながら待っていました。当日の座席が急こう配の3階席。なかなかの高さで、ステージを見るのに少し怖いなと感じていた仲間もいましたが、オーケストラの生の音楽を大いに楽しんでいました。日頃からラジカセで音楽を聴くのが好きな仲間は、途中からもっと近くで聴きたいと思ったのか、ニコニコしながら前に行こうとしていました。そういう積極的な姿を引き出してくれる音楽の力ってすごいですね。他にも澄ました顔で聞いていたな〜と思っていた仲間が家に帰ってからお母さんに「スターオーズ」など、演奏した映画音楽のタイトルを伝えてきたと意外な反応や発見がたくさん



コンサートがはじまるよ♪



お楽しみのランチタイム♪

引き出されました。また、みんなが知っている「さんぽ」では最高の盛り上がりで会場は合唱や拍手の嵐…。すずかけの仲間たちも笑顔で拍手をしていました。名フィルの皆さんは趣向を凝らし、障害を持った方や0歳児などを対象にしてみんなが同じ会場で同じように音楽を楽しめるようなコンサートをつくっています。だからこそ、仲間たちの楽しそうな姿を見ることができました。普段の生活だけでは感じられないようなこのような経験をこれからも保障できるというなと思っています。

そして、もう一つの楽しみは、デニーズでのランチタイム。花より団子じゃないけれどコンサートより楽しんでいた仲間もチラホラいたような…。それも行事の醍醐味の一つですね。

（職員 眞鍋）

生活実習、楽しかったよ♪

今年もホームを利用していい仲間たちが、生活実習を行いました。男性のグループは5名の仲間たちなので、お味噌汁を作ったり、コンビ二へお買い物するなど、にぎやかな実習となりました。

今回、実習初参加のOさん。実習が始まる前は「オトマリカイ」と言ってはちょっと緊張気味だったようです。でも、実習当日はとても楽しそうでした。スーパーで買い物では自分の好きなものをどんどんかごに入れていました。入浴の順番も一番に入りたいとアピールしていました。

そんな後輩をほほえましく見ている先輩の仲間たち。特にIさんは「何言ってるだO君!」と楽しそうに返していました。そして、O君が一番風呂に入りたいことを知ったら、先に譲ってくれる先輩ぶりをみせてくれました。

それ以外にも、買い物先でウキウキしていたり、お味噌汁を作るために包丁を巧みに使ったり、普段は少食だけれども夕食を完食するなどの仲間の姿がありました。

女性グループも生活実習を行いました。

今年度はすずかけ、さらんの女性合わせて3人という事で少し寂しい生活実習となりました。

今年も皆でわいわい夕食作りを行い、野菜たっぶりのコンソースープを作りました。野菜を切るのでも小さく切ったり斬新な形に切ったりとそれぞれの個性が良く出ていました。調理に気持ち乗らない仲間は、ほかの仲間に優しく声を掛けてもらい、夕食作りに参加することができました。みんな何度でも味見をして、実際に美味しく出来上がり、幸せそうに食べていました。

お惣菜を取り分ける際には、一つずつ取り分けるのが難しい仲間に対して次の皿を準備して待っていてくれる仲間がいたり、次の段取りを考えて何をするかなど声を掛けてくれる仲間がいたり、少ない人数だからこそ助け合う場面が多くみられる生活実習となったのではないかと思います。

(職員 西村・太田)



新人職員自己紹介

今年4月からすずかけ共同作業所にて勤務し始めました、丸谷です。実は昨年10月からアルバイトしていたのですが、すずかけと関わりを持って早くも一年が過ぎようとしていることに驚きます。

働き始めは全く思うように動けず、自分に情けなく思う日々でした。仲間ともうまく関わることもできず、空回りの日々…。正直、はじめの数か月は心の中で半泣きの気分でした(笑)。最近になって少しずつ、落ち着いて仲間と接することができるようになってきたように思います。なにより仲間と関わるのが楽しくなってきました。意識していないところ、見えない常識にがんじがらめになっていたのかも。

もっと余裕を持って仲間を大切にいくことのできる職員になれたら…と常々思っているのですが、こちらも現実はそう甘くはなく、少しずつ、成長していければと思います。

11月からはさらに働くことになりましたが、すずかけで学んだことをさらんの現場で生かせるよう精進したく思います。これからもよろしく願います。

(職員 丸谷菜月)

障害者を傷つけないで：

～障害者雇用水増し問題について～

8月17日に中央省庁による障害者雇用水増し問題が発覚して以来、テレビや新聞などで連日報道されています。検証委員会は、10月22日、調査報告書を発表しました。水増しされていたのは国税庁、国土交通省など28機関の3700人。「過失はあるが、故意性はない」と結論付け、意図的ではなかったとしています。しかし、果たしてそうでしょうか？水増しの中身は裸眼視力で0.1以下の人を視覚障害者に計上したり、「うつ状態」などの人を自己申告などを根拠になぜか身体障害者として数えたり。もしこれが制度の無理解だとしたら、勉強不足も甚だしいとしか言いようがありません。更に退職者や既に死亡している人まで計上しているという実態があるのに、「意図的ではない…」という言い分は通用しません。23日の中日新聞の記事に大きく取り上げられており、「雇用促進に率先して取り組むべき行政で、書類上の数合わせが横行していた事実」「悪質、許し難い」と書かれていましたが、その通りだと思います。障害、そして人格が軽んじられているように見え、怒りを感じます。すずかけを卒業して企業就職していった仲間、作業所で出来ることを精一杯頑張っている仲間達やその家族に対し、本当に失礼だと思います。また障害者雇用に前向きに努力している民間企業への裏切り行為であり、不信感が広がっているといえます。

私たちすずかけが加盟している障害者事業所の全国連絡会「きょうされん」は2度の声明文を発表しました。この中で「今般の水増しの背景には、障害のある人は手がかかる、人手もお金も余計にかかる、といった偏見や無理解がある。こうした根深く古い意識が社

会的障壁となって、水増しという形で障害のある人を排除し続けてきたのだ」とあります。また、「本件によって働く機会を奪われた障害のある人たちは、収入面でも大きな被害を被ったわけだが、何より社会参加の選択肢を行政により制限され、重大な人権侵害を受けたことになる」と訴えています。

今後は2019年末までに雇用率を達成する方針とありますが、数だけ合わせて大量採用しても、職場にも障害当事者の方にも多大な負担がかかるのは目に見えています。大切なのは水増しの背景にあるものを理解し、障害者が働ける環境整備や、教育の計画、そしてそれに関わる予算確保などを手掛けていくことではないでしょうか。

先日すずかけでは職員会議にてこの件についての学習、交流を行いました。いつも障害を持つ仲間の一番近くにいる職員は、事実を知ろうと努力し、地域の方に伝えていく責任があります。今後国は「意図的ではない…」とごまかすのではなく、障害のある方々の思いに真摯に耳を傾け、まずはこのような失態に対し共に心を痛めていただきたいと思います。そして偏見のない平等な社会に向けて改めて論議し、真の障害者雇用が実現できることを願っています。また、障害者問題だけに限らず、弱い立場の人々に対して誠実な政治をしてほしいです。私たちはきちんと勉強し、国の動向を見守っていかねければなりません。

(職員 幅田)

ぼくの絵本ができました！！

ぼくの絵で本を作ったよ。大好きなばあちゃんと
中学部2年生のころ半年間一緒に過ごした。あれ
からばあちゃんはじいちゃんに会いに行った。ぼ
くはプレゼント用意して帰りを待ってるよ。

絵とお喋りはぼくが描き、
母さんが編集してくれました。
そんなお話。是非、見てね！読んでね！

福山型筋ジストロフィーという病気
を持っています。仕事や活動、友達
が大好きで、毎日楽しい日々を送っ
ています。あだ名は「タモリ」！

森田祐介

題名：「ぼくのこえがきこえるの？」

発行：ブイツーソリューション

発売：星雲社

定価：1,000 円 + 税

近々、本屋さんやネットでも注文できます

ぼくへの注文も受け付け中！ご希望があれば直筆の
サインを入れます（^ 0 ^）

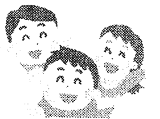


おばあちゃんと孫。二人にとっては日常の会話。でも、病気になっておばあちゃんと、病
気を持っている孫の会話です。

大勢いる子どもや孫の中で、おばあちゃんを救えたのは生まれながらに病気を持ち障害
を持っている孫でした。私は、二人の会話から多くのものを感じ、得ました。また、これま
で何気なく見ていた絵を改めてみると、こんなにも細部まで表現されていることに驚きま
した。読まれた貴方にも、沢山の感情が生まれてきたらうれしいです。

（編集者談）

来年、愛知できょうさんんの全国大会があります！



来年の10月25日（金）、26日（土）に名古屋国際会議場で、きょうさんんの全国大会が開催されます。愛知で大会が行われるのは、2002年以来17年ぶりです！

その大会に向けて、様々な団体や施設から集まったメンバーで実行委員会や部会が結成され、愛知県だけではなく、東海地区全体で盛り上げていこうと会議や学習会などの準備をしています。私は、ボランティアや要員を募集したり、会場案内や交通誘導などを行う運営部の担当をしています。

9月には、京都で行われた全国大会へ視察に行ってきました。前日からの準備はとも大変でしたが、京都の実行委員にアドバイスをもらったり、当日はボランティアさんと話をしたり、運営の良かった点や悪かった点なども含め、とても参考になりました。交流会や仲間企画では、舞子さんの舞踊のコーナー、着物で仲間のファッションショーなど、京都ならではの企画がたくさん用意されていました。閉会式では京都からの引継ぎと愛知大会のアピールをしっかりしてきました。

愛知大会では、仲間が主人公になれるような場面をどれだけ用意できるのかということを意識して準備を進めています。また、来年は共同作業所がこの愛知から誕生して50年の節目の年でもあります。この大会の意義を多くの人に理解してもらうためにも、協賛や後援の運動組織・資金作りが必要です。運営部としては、大会を支えるボランティアさんが、大会が終わってもこれをきっかけにしていろいろな繋がりを持てるような機会にもしていけたらいいなと考えています。日々の業務もあり大変ではありますが来年に向けて頑張っていこうと思います。

（職員 森下）

◆きょうさんん…どんな障害のある人も人間らしく働き暮らすことができるように、学習や交流、国や自治体への要請運動を通して、制度づくり、地域づくりに取り組む全国組織です。障害のある人誰もが「あたりまえに働き えるべるくらしを」を実現できるように働きかけています。

仕事の帰りに外食してホームへ！

作業所の帰りに「外食して、お買い物してホームに帰る」そんな新たな取り組みが始まっています。考えてみれば、仕事帰りに「本屋でお気に入りの雑誌を買う」、「ケーキ屋さんでおいしそうなスイーツを探す」などごく普通のことです。「買い物に行つて、食事をし、家に帰る」そんな当たり前の生活が実現できるよう、ホームとヘルパーステーションが連携して動き始めました。

以下、ある日の取り組みの様子をヘルパーからの報告です。

「仕事が終わった16時過ぎに作業所を出て巡回バスに乗って（中略）、希望だった買い物はホームのコーヒータ임に食べたいお菓子をゆつくりと探して購入。定食屋で食事。メニューを見るや「おうどん！」とうどん付きの定食を希望。満足そうな表情のまま食事を堪能し（中略）途中のコンビニでコーヒーを購入し、19時過ぎにホームへ帰着。満足そうな表情から外出を楽しめたようである」

この取り組みは、ほんの小さな一歩です。でも「あたり前の生活」への大きなステップになると考えています。「今日は一杯飲みに行くからご飯いらない！」の連絡を仲間がくれるのは、そう遠くないと信じています。

（ホーム施設長 光岡）

すずかけバザーを開催しました！

11月18日(日)に今年も清水屋小牧店さんで秋のバザーを開催しました。当日は大勢のお客さまに足を運んでいただき大盛況でした。

今回の売り上げは、今後のすずかけ福祉会の事業推進のために大切に使用させていただきます。本当にありがとうございました。



あかつき共同作業所との

合同ケース検討会

10月6日(土)に昨年度から2回目となるあかつき共同作業所との合同ケース検討会を実施しました。あかつきとすずかけ、それぞれ1ケースずつ持ち寄り、「集団」をテーマに報告し、その後いくつかの小グループに分かれて情報交流や討議をしました。今、それぞれの作業所がどんな課題に直面し、どんな実践をしているのかなどを話し合いました。参加者からは「今後の支援にとっても参考にな

った」と感想が寄せられていました。

署名にご協力ください！

今年もきょうされん(障害者福祉事業所の全国連絡会) 国会請願署名に取り組みます。毎年沢山のご署名をいただいておりますが、今回で第42次となりました。65歳を過ぎても本人が望めば介護保険へ移行せず今まで通り障害者福祉サービスが受けられるようにして欲しい、若い職員が魅力あるこの仕事を長く続けられるような給与水準に引き上げてくださいます。などの請願項目が挙げられています。皆様のご協力をお願い致します！

職員大募集!!

すずかけ福祉会では職員、ヘルパーを大募集しています。「障害をもつ仲間と一緒に仕事をしてみたい」「楽しい仕事したい」など少しでも興味を持たれた方は、お問い合わせください。よろしくお願ひいたします。



編集後記

過ぎしやすかった秋も終わりを告げ、今年も残すところあと僅かとなりました。この季節になると1年なんてあっという間だなと毎年感じます。私もすずかけに入職して早10年になります。1年目の時は、10年後の自分の姿は想像しておらず、せっかく就職できたのに「どこまで続けられるかなあ」と思っていました。今では理事長をはじめ、管理職や先輩職員から「もっとと責任感をもちなさいよ」「後輩をしっかりと指導しなさいよ」と言われる年齢になりました。それだけ経験を積んだのだと感じると同時に年々、増える役割や仕事量に滅入るときもありました。

そんな中、10月28日(日)に名古屋市長で行われた「愛知県民集会」に参加してきました。私は組合員でもあり、日頃から他施設の状況を知る機会が多いのです。そこでは私よりも若い職員が「働きやすい職場にしたい」「不条理な状況を打開したい」など熱い思いを発表していました。私は頭が下がるのと同時に当時の自分とは全然違うなあと感じました。どんな職業でも若い人たちが元気で働ける職場って素敵ですね。